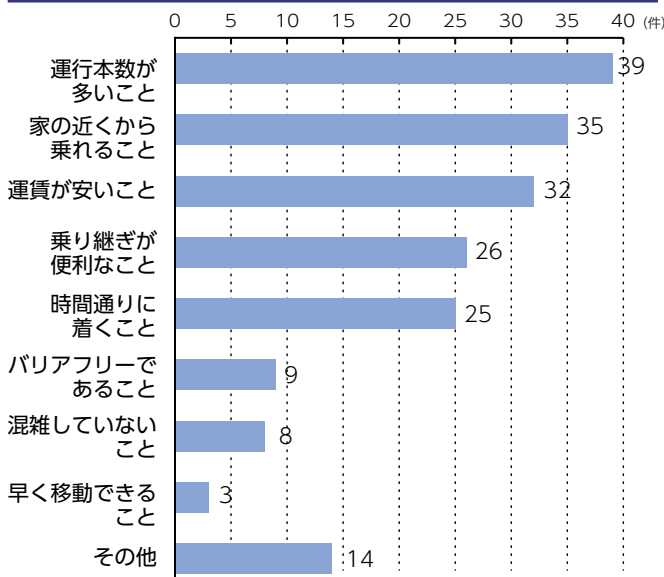




前回の広報うつのみやプラス「交通未来都市うつのみや」に対して73人の市民の皆さんからご意見をいただきました。代表的なものをご紹介します。

(1) バスなどの公共交通を利用する際に重要だと思うものは何ですか？(3つまで)



■その他の意見

- ▼交通ICカードが利用できること(花園町・30代)。
- ▼障がい者も安心して利用できること(宝木町2丁目・40代)。
- ▼バス停の付近に駐輪場があること(宝木本町・70代)。
- ▼バス停に上屋やベンチがあること(鶴田町・30代)。
- ▼路線案内、乗り継ぎ案内が分かりやすいこと(中央3丁目・40代)。
- ▼鉄道の始発便や最終便に対応し、朝早くから夜遅くまで運行してほしい(西川田本町・50代)。
- ▼スーパーなどにバス停があれば駐車や買い物ができて便利(江曾島5丁目・60代)。

(2) 公共交通で便利に移動できる「交通未来都市うつのみや」に期待することを教えてください。

- ▼お年寄りや体の不自由な人でも便利に移動できること(陽東・30代)。
- ▼公共交通の乗り継ぎ施設にショッピングセンターがあり、便利になること(宝木町・80代)。
- ▼車ではなく徒歩移動の機会が増え、健康が増進されること(40代)。
- ▼公共交通の待ち時間も楽しめ、どこへでもスムーズに行けるようになること(御幸本町・70代)。
- ▼公共交通を軸とした歩行者優先のまちが形成され、楽しく安全にまちなかを回遊できるようになること(中央3丁目・40代)。
- ▼公共交通を利用して、まちなかに行けるようになること(宝木町1丁目・60代)。

前回の広報うつのみやプラス「交通未来都市うつのみや」の概要



公共交通が良くなって生活が変わる

現在、本市では、交通施策の指針となる「宇都宮都市交通戦略」を改定しています(平成31年3月策定済み)。

今後10年間、新たな都市交通戦略に取り組むことにより、定時性の高いLRTが導入されて余裕をもって通勤できるようになったり、夜遅くまでバスが運行されるようになって安心して飲み会に参加できるようになったり、公共交通が良くなることで私たちの生活も変わっていきます。

また、交通が快適になることで、行き交う人が増え、賑わいのある魅力にあふれた街が形成されます。

宇都宮地域の交通ICカード

本市では、鉄道などの乗車に利用できるSuica^{スイカ}に、高齢者の外出支援などの地域独自のサービス機能が付いた「地域連携ICカード」の導入を目指しています。

この交通ICカードの導入により、LRTやバスなどの運賃支払いや乗り継ぎが便利になるだけでなく、上限運賃制度や乗り継ぎ割引が適用されたり、利用に応じてポイントがたまるなど、お得なサービスが受けられます。

広報うつのみやプラスや政策特集は、皆さんと一緒に考えていただきたいテーマを取り上げ、年に数回編集します。



料金受取人払郵便



差出有効期間

2020年8月

15日まで

【切手不要】

3 2 0 8 7 4 0

(受取人)

宇都宮市旭1丁目1番5号

(宇都宮市役所)

宇都宮市総合政策部広報広聴課

行



3 2 0 8 7 4 0

3

氏名	住所	
年齢	歳	職業

差し支えがなければ記入してください。広報紙で意見を紹介する際には、氏名の記載はしません。なお、はがきの情報については、目的以外には使用しません。